

野田 九条通信

2012年11月 83号

「野田・九条の会」事務局

Tel 7122-0502

野田九条の会ホームページ

<http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/>

今こそ憲法を生かそう！

11月23日は

「アーサービナード講演会」へ！

野田・九条の会は、10月13日という論調のマスコミにはない見方を日定例会を開き、11月23日に書いています。そして憲法九条の精行う「アーサービナードさん講演会」のチラシの2面です。11月15日朝日、毎日、読売、東京の各新聞に折り込みます。

表題を「国内外の困難に際して憲法を生かし支えよう」とすドさんの講演も「憲法」がテーマで対し、どう考え行動すればよい達も誘って南部梅郷公民館へお出のかを書いていきます。尖閣諸島問題では、日清戦争当時まで歴史をさかのぼり、ただ単に「固有の領土」を繰り返す、他国の領土に侵入しようとするのはけしからんと

沖繩に連帯しよう

今月の定例会では、オスプレイ配備に關しても話し合いました。沖繩の琉球新報などの新聞と朝日など大新聞の扱いの違い、そして私たち沖繩以外のニッポン人が危険な軍事基地を自分の問題として考え行動しないことが、基地を沖繩に集中させる結果になってい

るのではないか。10月16日にはまたまた米兵による女性への性的暴力事件が。許せない！何かできないか。沖繩で基地反対の行動を毎日やっているおばあの言葉、「政府に声を届けて欲しい。」

☆首相官邸 〒100-8968 東京都千代田区永田町2-3-1

☆(FAX) 03-3581-3883

必ず宛名を、第65代内閣総理大臣に指名されました野田佳彦殿と入れてください。宛名等を記載すると必ず手渡さなければならなくなる

「太陽光発電とオスプレイ」

川間九条の会 柳 掬一郎

太陽光発電を始めました。古い家なので屋根の上は無理らしいということで、畑に設置しました。

晴れた日は順調に発電し、かなり充電しています。設置に踏み切ったのは、原発反対のデモ行進(パレード)の途中、右翼の人たちから「お前らだって、テレビや冷蔵庫、パソコンなど使ってるんだろ。」と言われたことです。節電だけでなく、少しは頭にあった太陽光の利用へと思いついたわけです。頭には有っても行動に移すには、大きなエネルギーが必要と最近しみじみ感じます。

脱原発の官邸前集會に一度だけ参加しました。疲れが翌日まで残り、今は二の足を踏んでいます。

何の關連があるのと思う表題のオスプレイ。沖繩に連帯して何かしたい。しなければ……。何ができる？ 辺野古で座り込みを続けているオバアたちが言ったそうです。「オスプレイの配備をやめろ、等々の声を政府に毎日届けて欲しい。」と。これならできるか。みなさんも一緒に毎日 メールやアクセスしてみませんか。

九条の眼

オスプレイはアメリカへ帰れ

日米両政府は、米海兵隊普天間基地（沖縄県宜野湾市）に、オスプレイ配備（12機）を強行しました。その目的は、今後20～30年を見すえて、侵略部隊である海兵隊の地球規模での“殴りこみ”能力を高めるためです。2013年夏には、更に12機が配備される計画です。海兵隊の海外拠点には日本だけ。従ってオスプレイが配備されるのも米国以外では日本だけです。

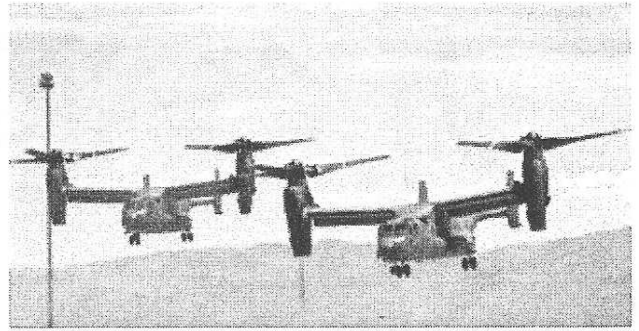
オスプレイは、開発段階でも実戦配備後も墜落事故が相次ぐ「欠陥機」です。今年に入っても4月にアフリカのモロッコで、6月には米国フロリダ州の基地で墜落し、これまで少なくとも36人の死者を出し、また、オスプレイは操縦が難しいというのに、エンジン停止時に安全に着陸するために不可欠な「自動回転」機能が欠如しているなど、機体の構造的な欠陥も明らかに。そのオスプレイが、拠点となる沖縄本島全域を飛行し、更には日本全土で低空飛行訓練などを行おうとしています。

これに対して日本政府は「オスプレイ配備は安保条約上の権利」などと発言、安保を盾に配備を強行しました。「住民の安全より安保のほうが大切なのか」「ハワイなどでは住民の反対に思い配備を取り止めたのに日本では、なぜ強行するのか」の声が全国で高まっています。

沖縄では、全県あげてオスプレイ配備に反対しています。県議会と41市町村、更に町村会などあらゆるレベルで反対の決議が行われ、9月9日には十万人県民大会が開催されました。

なぜ、沖縄の怒りがこれだけ高まっているのか。それは、米軍機の配備が1959年6月に発生した宮森小学校（現・うるま市）への米軍機墜落事故（児童含め18人が死亡）、1965年には、米軍ヘリからパラシュート投下されたトレーラーに隆子ちゃんの命が奪われ、そして2004年の、米軍ヘリが沖縄国際大学に墜落し大惨事一歩手前まで至った事故など、戦後の忌まわしい記憶と直結しているからです。

加えて、米国は沖縄へのオスプレイ配備を既定路線にしてきたのに、日本政府が沖縄県民に欺き続けてきたこと。更に「返還」と言ってきた普天間基地を固定化し、そこに欠陥機オスプレイを配備するという、二重三重の裏切りを受けたことが挙げられます。



沖縄県の仲井真知事は「配備強行ならば、県内の全基地即時閉鎖という動きにいかざるを得ない」と述べ、また、沖縄県選出の超党派国会議員は、「配備強行ならば、沖縄の怒りは日米安保体制を揺るがすほど大きなものになる」と声明を出しています。

日本全土で低空飛行訓練を行い、国民の命を危険にさらすオスプレイ配備という暴挙を、沖縄と本土の連帯によって撤回させていかなければなりません。

日本政府が安保を盾に配備を容認するのであれば、「日米安保条約そのものをなくせ」この声を高め広めていこうではありませんか。

（伊藤 進）

今月の予定

- ◇ 11月9日（金） 4時 梅郷駅
9の日行動 チラシ配布
- ◇ 11月17日（土） 2時
野田市北部公民館講座室
野田九条の会定例会（今月に限り第3土曜日）
NHK・ETV 特集視聴「原発作業員2年目の夏」
- ◇ 11月23日（金・祝） 1時半～3時半
野田市南部梅郷公民館
“アーサー・ビナード講演会” 協力券700円
- ◇ 11月24日（土） 1時半～4時
北コミュニティ会館
川間9条の会
NHK・ETV 特集視聴
「チェルノブイリ原発事故・汚染地帯からの報告」
- ◇ 11月28日（水） 2時半・7時の2回
柏市文化会館大ホール
映画上映会「一枚のハガキ」（新藤兼人監督作品）
（野田・九条の会に前売りチケットあり、1000円）
- ◇ 11月28日（水） 2時～5時
櫻のホール4階研修室
けやき九条の会 学習会『日本の軍隊』岩波新書